

問 多古城跡の高台の公園としての活用は

高坂恭子議員（所要時間45分）



答 計画の改訂の中で公園のあり方についても議論します

問 多古城跡北側に空堀跡の整備がなされていますが、どのような目的で行われたのですか。また整備事業費はどれほどかかりましたか。

町長 高台部分の多古城跡公園としての活用については、成田国際空港の更なる機能強化に向けた取り組みや、首都圏中央連絡自動車道の整備に向けた具体的な取り組みが始まるなどの状況の変化を加味した町の上位計画の改訂が今後見込まれることから、この中で、今後の町の公園のあり方についても議論を深めてまいります。



多古城と千葉氏についての説明板

問 歴史的資源の活用を多古町は、中世には「千田庄」と呼ばれ、下総国の文化の中心地であり千葉氏の本拠地として、中世の歴史遺産が多く存在する場所です。多古城跡の高台を仮称多古城跡公園として活用するお考えはありませんか。

歴史的資源の活用を

町長 歴史と文化にあふれる多古町において、この歴史的価値の高い空堀跡を適切に保存し、後世に引き継いでいくことは重要であり、歴史に触れることでふるさと意識の醸成につながるものと考え、整備を行いました。竹の伐採で約65万円、多言語表記による誘導案内板と地図型説明板設置で約79万円です。

問 「多古町ぶらり散歩」のパンフレット久賀地区編が無いのですが。

町長 議員のお考えはもつともであるように思いますが、町有地でないことや、文化財調査だけでも数億円かかると見込まれておりまして、提案として、また要望として拝聴し多古台についても議論したいと思っています。

問 熱意でいろいろ障子を乗り越え、町一番の拠点となり、アジサイが植えられている距離としては日本一です。是非多古城跡も形にしていただくようお願いいたします。町長の長期的な考えをお聞かせください。

町長 議員のお考えはもつともであるように思いますが、町有地でないことや、文化財調査だけでも数億円かかると見込まれておりまして、提案として、また要望として拝聴し多古台についても議論したいと思っています。

問 整備された空堀跡に関しては、竹や夏草等が茂ることのないよう定期的な整備が必要と考えます。

生涯学習課長 本年度中に久賀地区編を作成し、すべての地区の文化財マップが完成する予定です。

問 町防犯対策は

町長 本町の犯罪の特徴は窃盗が大半であることです。今年度は、地区で設置するものを含め防犯カメラ5台の設置を予定しており、今後とも警察と連携を図り、継続してカメラ設置に努めてまいります。

問 子ども中心に安心・安全を考えた場合、防犯組合として青パトの活動は。

総務課長 多古町防犯指導員は各区長に委嘱し、警察や駐在所からのお知らせなどを回覧しています。青パトの活動は10月から2月までの間、週1回下校時の夕方のパトロール活動のほか、必要に応じて巡回しています。

審議結果〈9月定例会〉

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退

(議長は採決に加わりません)

議案番号	議決結果	議席番号													議長	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
15	認定 賛11・否2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
16	認定 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
17	認定 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議案第5号	可決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

件名と主な内容

後期高齢者医療特別会計決算の認定…後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。

病院事業会計決算の認定…病院事業会計決算を認定に付するもの。

水道事業会計決算の認定…水道事業会計決算を認定に付するもの。

地域振興策の早期実行に関する決議…成田空港の成長が、地域住民の生活環境向上につながり、空港周辺市町の格差が解消されるよう関係機関が一体となり、実施プランに基づいた地域振興策の速やかな実行と財源の確保を関係行政官庁に要望するもの。

発議者 鶴澤 茂議員ほか4名

地域振興策の早期実行に関する決議を可決

9月14日、鶴澤茂議員ほか4議員から「地域振興策の早期実行に関する決議」が提出され、賛成全員で可決しました。

決議書は国土交通省、千葉県、成田国際空港株式会社に提出します。

地域振興策の早期実行に関する決議

昭和53年に開港した成田空港は、社会情勢の変遷に合わせ今日までの40年間、着実に発着回数を増やし、日本の表玄関として国際拠点空港の役割を担ってきた。

その一方で、空港建設をめぐる歴史的経緯により、いわゆる成田空港問題は社会問題化するともに、内陸空港ゆへの宿命から空港周辺市町の地域間格差を生み出すと同時に、騒音問題など地域住民の生活環境にも大きな影響を与えてきた。

こうした中、航空需要の増加やアジア地域における空港間競争の激化などを背景に、第3滑走路の整備、B滑走路の延伸、夜間飛行制限の緩和を柱とした、成田空港の更なる機能強化が議論され、平成30年3月13日に「成田空港に関する四者協議会（以下、「四者協議会」という。）において、その具体的方策について合意されたところである。

空港周辺市町がこれからも成田空港とともに共生・共栄していくためには、「空港づくりは地域づくり」の理念のもと、四者協議会での合意を新たなスタートとして関係機関が連携して、更なる機能強化と空港周辺市町の環境対策及び地域振興策を一体的なものとして進める必要がある。特に、これまでに生じた地域間格差を解消する意味からも、空港東側及び南側地域を中心に、その効果を確実に波及させていかなければならない。

多古町議会としては、成田空港の成長が、地域住民の生活環境向上につながり、空港周辺市町の格差が解消されるよう関係機関が一体となり、平成31年度に策定される実施プランに基づいた地域振興策の速やかな実行と財源の確保を強く要望するものである。

以上、決議する。

平成30年9月14日
千葉県多古町議会